

# 協働の森パートナーズ協定

## ～活動レポート～

人が森を助ける。  
森が人を助ける。



### 第10回日本道路の森間伐体験交流会in梶原

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業 日本道路株式会社様  
開催日 令和元年11月15日(金)、16日(土)  
開催場所 梶原町仲間



(仲間造林生産組合分収林「日本道路の森」)

参加人数 38名  
(日本道路(株)及び関連会社28名、梶原町6名、仲間造林生産組合2名、高知県2名)

梶原町仲間地区に、日本道路株式会社様・梶原町・高知県との協定森林があります。本協定は平成20年2月締結以来、3期約9年間にわたり、ご協力いただいています。

今年は令和元年11月15日、16日に第10回となる交流活動が開催されました。

開会式では、梶原町長の吉田尚人氏、仲間造林生産組合長の土釜清氏、日本道路(株)の堀吉伸氏よりご挨拶いただきました。

開会式の後には、梶原町の自然エネルギーを活用した取り組みについて学びました。



左から吉田町長、土釜組合長、堀四国支店長

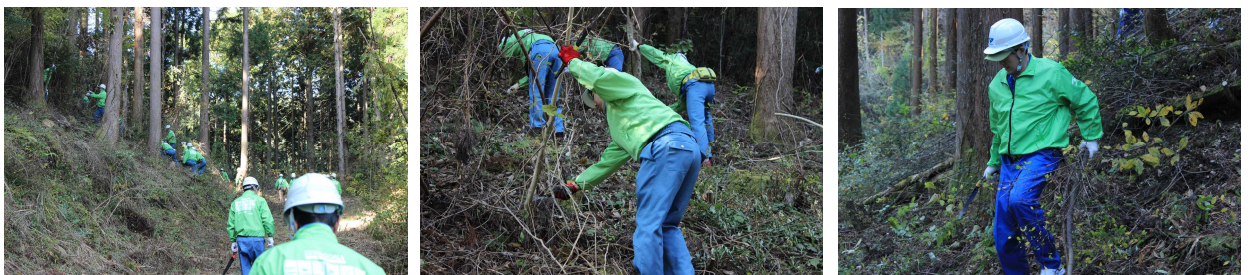


木のいい香りがする議場で勉強させていただきました

その後「日本道路の森」にて作業開始！

前日から急に冷え込んだ影響で山の上も空気がひんやり冬仕様・・・でしたが、天候に恵まれて晴天の下での間伐体験です。

一人1本のこぎりを持って、斜面を上り、まずは木を伐採する際に支障のある“灌木”を切っていきます。至る所にツルが絡み、木を切っても倒れないので切って下ろすだけでも一苦労！周りの人と助け合いながら手際よく作業を進めます。



見た目より斜面が急でしたが皆さんすいすい上り下りされていました、すごい・・・  
作業中も終始楽しそうな声が聞こえました。



斜面で除伐作業をするチームと分かれて、もう一つ大事な作業をしてくださっていました。  
この長い板は一体何になるのでしょうか…

楽しく作業することおよそ1時間。たくさん生えていた灌木がなくなり、木を伐採しやすい土地になり、伐採した灌木は道の端に積み上がりました。

「こんなにすっきりすると達成感があるね！」という方が多かったのですが、中には「楽しいけど毎日これは疲れるね」と、山で働く人の大変さを体感するつぶやきも。



とてもきれいになったのですがビフォーの姿を撮り忘れてしまったのは痛恨のミス…積み上がった雑木の量で元の姿をご想像ください…



いよいよ間伐です。今回切るのは直径約30cmを超える杉の木です。木の切り方を教えていただいてから、受け口からのこぎりで作っていきませんが、なかなかのこぎりが進まず、チェーンソーにバトンタッチ。

最後は追い口をのこぎりで作り、切り倒しました。

木が倒れる様子に自然と拍手が起こっていました。何度見ても迫力がありますね。

間伐体験を終え、移動した先は「日本道路の森」の看板前です。雨風にさらされて傷んだ屋根を取り替えます。

除伐チームと分かれて作業していたチームはこの看板の屋根板を作っていたんですね！みんなが見守る中、お二人が黙々と張り替えをしてくださいました。



きれいになった看板の前で記念に1枚！

みなさんたくさん動いてお疲れのようでしたが、楽しそうで何よりでした。

最後は仲間地区のお母さんたちお手製のお昼ご飯で交流会です。皆さんののしみにしていました。おいしい郷土料理に舌鼓を打ち、たくさんお話をして、交流活動は終了となりました。



シャイなお母さんたち。ごちそうをありがとうございました！

協働の森での除伐・間伐が、豊かな森と海につながることでしょう。また来年もお待ちしております！